

①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-235	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ・710	EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校および「論理・表現Ⅰ」との連携を考慮して基本事項の定着を重視するとともに、その基礎を活用して論理的な英語表現の能力を伸ばすことが可能となるよう選定した。
3. 「書く」「話す」の生産的2技能を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の受容的2技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身につけ、積極的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し English Punctuation	英語の句読法について正しい知識を習得させ、標準的な英語における適切な表記を追究する姿勢を養う。(第1号)	前見返しⅠ・Ⅱ
後見返し Sustainable Development Goals一覧	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することを意識できるよう配慮した。(第3号) 平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)	後見返しⅢ・Ⅳ 写真全般
はじめに	パラグラフの構成や展開について基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	4～5ページ
Part 1 Lesson 1～5,	英語で表現するための基本的かつ	7～101ページ

<p>Part 2 Lesson 1～5, Part 3 Lesson 1～5</p>	<p>幅広い知識を確実に身に付ける。 (第1号)</p> <p>自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>言語の働き(機能)を念頭におき、様々な場面で相手の存在を意識して、より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。(第1号)</p> <p>個人を尊重し、自律性を養い、職業などを意識させる題材を採用した。(第2号)</p> <p>他者と協力することの重要性や社会へ主体的に参画し、発展に寄与する態度を養う。(第3号)</p> <p>自然を大切にし、資源の節約を主題にした教材により、環境保全に寄与する姿勢を養う。(第4号)</p> <p>日本と他国を比較することで、その文化などに対する理解や互いを尊重する態度を養う。(第5号)</p> <p>社会的な問題等について理解を深め、それを表現することで、社会の一員としての責任意識を高める。(第2号)</p> <p>言語の働きを学習することで、他人に対する心的な働きかけを意識して、自他の意見の相違などを尊重しつつ対話を進める態度を養う。(第3号)</p>	<p>Task 2 (11, 13ページほか)</p> <p>Goal (11, 13ページほか)</p> <p>What do you think? (14ページほか)</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>9～101ページ</p> <p>30～32ページ 65～70ページ 72～77ページ</p> <p>24～26ページ 41～46ページ 65～70ページ</p> <p>47～52ページ</p> <p>9～14ページ 21～26ページ 53～58ページ</p> <p>44～46ページ 50～52ページ</p> <p>44～46ページほか</p>
<p>スピーチをしてみよう</p>	<p>英語でスピーチをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</p>	<p>102～103ページ</p>
<p>プレゼンテーションをしてみよう</p>	<p>英語でプレゼンテーションをするための基本的かつ幅広い知識を確</p>	<p>104～105ページ</p>

	実に身に付ける。(第1号)	
ディベートをしてみよう	英語でディベートをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	106～107ページ
ディスカッションをしてみよう	英語でディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	108～109ページ
Expressions Plus	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	110～119ページ
Useful Expressions	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	120～126ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特色

A. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の能力を段階的に伸ばす構成

1. トピック別の章立てで、目的や場面に応じたさまざまな表現を身につけて、「話す」「書く」という表現活動につなげることができる構成になっています。
2. Part 1, Part 2 では、「話す」活動を中心とした“Let’s speak about...”を見開きの2ページで、「書く」活動を中心とした“Let’s write about...”を2ページで扱い、それぞれに設定している目標(Goal)に向かって段階的に力をつけることができる構成になっています。
3. Part 3 では、パラグラフの構成や支持文の展開の仕方を学習し、論理的な文章を書くことを目標にしています。

B. 課末では自分の意見を述べるなどの活動へと展開

Part 1, Part 2 課末の What do you think?では、論題に対して自分の考えを述べる活動を行うことができます。ディスカッションやディベートにつながる活動です。Part 3 課末の Extra Activity では、イラストや表に関する表現活動を行います。

C. スピーチ・プレゼンテーションやディベート・ディスカッションなどの解説

スピーチ・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッションの進め方など、比較的高度な言語活動についてもわかりやすい例とともに解説しています。

II. 各課の構成

A. 正課：表現の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

①Part 1・2

1. 導入ページ

- a) 各課で学んで達成する目標を3領域に分けて提示しています。

CAN-DO >>>		
A. Speak (Interaction) Explain one Japanese custom to your partner. You can use some of the expressions in the Basic Expressions section to help you.	B. Speak (Presentation) Give a 40-second presentation to the class about one Japanese custom.	C. Write Write a passage of 70 words or so about one foreign custom. You can use some of the expressions in the Basic Expressions section to help you.

- b) トピックに関連した写真描写などのリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動を行います。

2. Let's speak about... (「話す」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：写真やグラフ、表など情報を含む素材と、各課のトピックに関連する会話文を掲載しています。会話文に出てきた重要表現は、Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げています。

★ ★ Basic Expressions

- **It is interesting to learn** about the differences in culture and customs between countries. (I.12)

⇒ 「…することは～だ」は、it を主語にして、It is ~ to do で表すことができる。

- **Knowing the history of a place helps us understand** local customs. (I.13)

⇒ doing 「～すること」が主語になっている例。〈help + O + (to) do〉は事物が主語の場合、「S は O が～するのに役立つ」という意味になる。 ➡ See page 110 Expressions Plus

- b) 右ページ：左ページの会話文についての情報を整理する活動と、整理した情報を参考にしながら、機能表現を使って自分の考えなどを表現する・ペアで話し合う活動、さらに話し合った内容について発表する・質問に答える活動を行うことができます。

3. Let's write about... (「書く」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：さまざまな形式の文章(メール、ブログ、投稿記事、スピーチ原稿など)をモデル文として用意しました。モデル文に関する簡単な問題を設けています。モデル文に出てきた重要表現は Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げています。

- b) 右ページ：モデル文を参考にして、学習した表現を用いて、自分の考えや情報について表現します。80語程度のまとまった文章を書く活動を行います。

4. 課末ページ (What do you think?)

各課のトピックに関する論題について自分の意見を表現する活動です。ディベートやディスカッションにつながる内容になっています。表現活動に使えるフレーズ例もあわせて掲載しています。

③Part 3

1. 導入ページ

各課で学んで達成する目標を3領域に分けて提示しています。

2. パラグラフの構成・展開パターン

教科書巻頭の「はじめに」で解説したパラグラフの構成・展開パターンの中で、その課で扱うものについて、例文を用いてさらに解説しています。

3. 資料と活動

- a) グラフや表、Eメール、雑誌のページなどを活動の資料として扱います。

- b) 資料や文章を読んで、内容の確認をしたあとで、グループもしくはペアでやりとりをする活動を行います。自分の考えをまとめ、Goalでは、パラグラフの構成を意識しながら、英文を書きます。

- c) Extra Activity では、イラストや表を使った表現活動を行うことができます。

B. 正課以外

1. 「はじめに」のページでは、Part 3 で扱うパラグラフの展開例について、例文とともに概要を説明しています。
2. スピーチ・プレゼンテーションやディベート・ディスカッションの進め方についての特集ページを設けました。
3. 各課の Basic Expressions / Functional Expressions で取り上げた重要表現に加えて、関連する事項を例文とともに Expressions Plus のページでまとめました。
4. 各課のテーマに関連する語句を Useful Expressions としてまとめ、表現活動に適宜使えるようなものとししました。
5. 前見返しでは、English Punctuation として、英文を読んだり書いたりする上で役立つ基本的な句読法をまとめました。

◆教材配当表<B5判・128ページ・4色>

課	タイトル	学習事項
	はじめに	パラグラフの展開パターン
Part 1 : Basic Expressions (文法の復習)		
1	Have you ever experienced any cultural differences? 【文化】	さまざまな主語の形
2	Where do you usually buy things? 【買い物】	さまざまな動詞の形
3	International events and cultural exchange 【国際交流・ボランティア】	名詞のはたらきをする表現
4	How have you been lately? 【日常生活・将来】	形容詞のはたらきをする表現
5	How do you watch movies and things? 【エンターテイメント】	副詞のはたらきをする表現
Part 2 : Functional Expressions (機能表現)		
1	Making life better 【社会・生活】	感情を表す
2	Good eating habits 【食習慣】	助言する・忠告する／必要・義務を表す
3	Visiting a new place 【旅行】	勧誘する・提案する／依頼する
4	Where would you like to live in the future? 【暮らす場所】	賛成する／反対する
5	Which candidate is the right person? 【選挙】	意見を述べる／希望を述べる
Part 3 : Express Yourself Logically (論理的な自己表現活動)		
1	Advertising a language school 【外国語学習】	パラグラフの構成
2	Inventions and discoveries 【発明】	例示・列挙
3	How people use their smartphones 【スマートフォン】	比較・対照
4	Our accommodation in Okinawa 【宿泊先の条件】	原因・結果
5	Getting ready for high school exams 【勉強の仕方】	時間的順序・手順
	スピーチをしてみよう	
	プレゼンテーションをしてみよう	
	ディベートをしてみよう	
	ディスカッションをしてみよう	

*はじめに：パラグラフの展開パターンを例文とともに提示したページ。

*その他，English Punctuation〔前見返し〕，文法・機能表現のまとめ Expressions Plus〔pp.110-119〕，テーマ別表現のまとめ Useful Expressions〔pp.120-126〕を収録。

*二次元コードにより，Part 1,2 各課の What do you think?のテーマ解説スライドを参考情報として提供。

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-235	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論Ⅱ・710	EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容を取り揃えた。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は英語を用いた。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる会話文やパラグラフを用意し、支援を与えるようにした。
- C. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実に出来るように心がけた。
- D. 様々な場面や状況を設定することで、多様な観点や立場からの考えや意見を引き出し、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができるよう配慮した。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

A. Part 1, Part 2

1. 導入



- ① **CAN-DO** : 各課で達成する目標を 3 領域（「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」）に分けて提示しています。
- ② **トピラ写真** : 題材への興味を喚起する写真を載せています。
- ③ **Before you start...** : 写真に関するリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動で導入できます。

2. Let's speak about...

Let's speak about...

① Last night, Ken was invited to dinner by his Chinese friend, Ming. Ken and Emma are talking about it.

② **Differences in table manners between Japan and China**



Japan
Ken

▲ Chopsticks are placed horizontally.



China

▲ Chopsticks are placed vertically.

Ken: Ming told me about some interesting differences in table manners between Japan and China.

Emma: They look very similar to me. Both the Japanese and the Chinese use chopsticks to eat, for example.

Ken: Yes, but the way we place them on the table is different. The Japanese lay them horizontally, while the Chinese place them vertically.

Emma: That reminds me of my first day at my host family's house. I laid my chopsticks vertically like knives and forks, and my host mother told me they should be placed horizontally.

Ken: Right. Ming also told me that holding a dish while you're eating from it is considered bad manners in China.

Emma: Really? That's normal in Japan.

④ **Listening Quiz** Q1. Q2.

⑤ **Basic Expressions**

- Both the Japanese and the Chinese use chopsticks to eat. (69)
- Both → Chinese 両方が同じ方法。(AもBも(同じこと)は both A and B で表す。
- The way we place chopsticks on the table is different. (67)
- 「Sが～する方式」は the way + S + V で表される。The way ～ on the table までの文脈に基く。
- That reminds me of my first day at my host family's house. (69)
- 「S(物事)がO(人)に～を思い出させる」は(remind + O(人) + of～)で表すことができる。
- Holding a dish while you're eating from it is considered bad manners in China. (612)
- 「～すること」は doing で表すことができる。Holding ～ from it までの文脈に基く。

⑥ **Task 1** Read the dialog on p. 10, and fill in the chart.

① Why does Emma think table manners are similar in Japan and China?	Because
② What is the difference between Japan and China regarding the way chopsticks are placed on the table?	The Japanese, while
③ What example of bad table manners in China does Ken mention?	He says

⑦ **Task 2** Choose one of the Japanese customs listed below, and answer the questions that follow. Then practice asking and answering them with your partner.

⑧ **Goal** Interaction/Presentation (→ pp. 102-103)

Tell the class about what you wrote in **Task 2**. Other students should ask questions.

Example
The Japanese custom I chose is taking off your shoes when you enter a house and leaving them by the door. This helps keep the floor clean. At school, students wear slippers called *geta* in school buildings. They are not allowed to wear street shoes inside. I think it's a good custom not to wear shoes indoors. It's much easier to relax indoors without your shoes on.

Check list Accuracy Structure Content (→ p. 107)

⑨ **TRY** Have you ever experienced culture shock?
.....

- ① 二次元コード：会話文と例文のリスニング、音読・発音練習を行います。
- ② 写真・資料等：各課のテーマに関連する写真や図表、ポスター、ウェブサイトのページなどさまざまな形式の素材を提示しています。
- ③ **Model Dialog**：テーマに関連する会話文を掲載しています。この会話文をモデルとして、やりとりや発表の活動につなげます。
- ④ **Listening Quiz**：会話文の内容に関する簡単なリスニングクイズです。
- ⑤ **Basic Expressions / Functional Expressions**：会話文に出てくる重要表現を取り上げて簡単に解説しています。
- ⑥ **Task 1**：左ページの会話文についての情報を整理しながら、重要表現も定着させます。
- ⑦ **Task 2**：Task 1 で整理した情報を参考にしながら、重要表現を使って自分のことを表現したり、ペアで話し合ったりする活動を行います。
- ⑧ **Goal**：話し合った内容について発表する活動です。また、発表した内容について質問をしたり、それに答えたりします。発表する内容の例を示して、表現活動の支援となるようにしています。また、評価するポイントとして **Check list** を掲載しています。
- ⑨ **TRY**：各課のテーマに関して自分のことを表現する活動を行います。

3. Let's write about...

The screenshot shows a lesson page with the following sections:

- Task 1:** Analyze the passage. Includes an overview question, a contents table, and three comprehension questions.
- Basic Expressions:** A list of useful phrases and their Japanese explanations, such as 'It is interesting to learn about the differences in culture and customs between countries.' and 'Knowing the history of a place helps us understand local customs.'
- Task 2:** Choose one of the national customs listed below, and answer the questions. Includes examples for Thailand, the U.S., Brazil, France, and Spain, followed by three questions.
- Goal Writing:** A section for writing about 70 words on a chosen national custom.
- Check list:** Accuracy, Structure, Content.
- TRY:** Take turns reading your passages aloud. Other students should ask questions.

- ① **Listening Quiz** : 会話文と簡単なリスニングクイズを行います。
- ② **Model Passage** (モデル文) : メール, ブログ, 広告, 掲示, 投稿記事などさまざまな形式の文章を扱います。
- ③ **Task 1** : モデル文に関する簡単な確認問題です。
- ④ **Basic Expressions / Functional Expressions** : モデル文中に含まれる重要表現を取り上げ, 簡単な解説を付けています。
- ⑤ **Task 2** : 自分のことに関する英問英答の問題です。まとまった文章を書くための準備の段階の活動です。
- ⑥ **Goal** : Task 2 の内容を使ってまとまった文章を書く活動です。
- ⑦ **TRY** : 書いた内容について話し合ったり発表したりする活動につなげます。

4. 課末

The screenshot shows a lesson page titled 'What do you think?' with a self-review section at the bottom.

What do you think?

① Do you agree with the following opinion?
The best way to learn a new language is to study it in a country where it is spoken.
 Yes No

② Why or why not?

③ Share your opinions with your partner.

I agree. If you study in a country where the language you want to learn is spoken, you are exposed to it all the time...
I disagree. Although studying abroad is an effective way to learn a new language, it costs too much...

learning a new language

- study abroad
- make local friends
- go to a local school
- experience culture shock
- 留学をする
- 現地の人と交ちになる
- 現地の学校に通う
- カルチャーショックを経験する

Agree — be forced to use the language / interact with local people / improve speaking skills / immerse oneself in English / take in a new culture / learn a different culture / adapt oneself to a different culture / enrich one's life experience / mature oneself / etc.

Disagree — cost too much money / may not be able to graduate on time / prepare for entrance exams / worry about safety / be mentally exhausted / language learning apps / watch news on the Internet / take online language courses / etc.

Self-review

	Excellent (A+) (A)	Good (B+) (B)	Need to improve (C-) (C)
A. Speak (Interaction)	自分の母国語や外国語を流暢に話し、パートナーと話し合うことができた。	パートナーと話せる外国語を流暢に話し、パートナーと話し合うことができた。	パートナーと話せる外国語を流暢に話し、パートナーと話し合うことができなかった。
B. Speak (Presentation)	自分の母国語や外国語を流暢に話し、パートナーと話し合うことができた。	自分の母国語や外国語を流暢に話し、パートナーと話し合うことができなかった。	自分の母国語や外国語を流暢に話し、パートナーと話し合うことができなかった。
C. Write	自分の母国語や外国語を流暢に書き、パートナーと話し合うことができた。	自分の母国語や外国語を流暢に書き、パートナーと話し合うことができなかった。	自分の母国語や外国語を流暢に書き、パートナーと話し合うことができなかった。

- ① **What do you think?** : ディベートやディスカッションにつながる活動です。日常的なものから社会的なものまでさまざまなテーマを扱います。二次元コードからテーマ解説スライドを見ることができます。
- ② **語句・表現例** : テーマに関して自分の意見を言うための支援となる語句や表現をまとめています。
- ③ **CAN-DO Self-review** : 導入のページで提示した目標の到達度を確認できるチェックリストを設けています。

B. Part 3

1. 導入

- ① **CAN-DO** : 各課で達成する目標を 3 領域(「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。
- ② **トビラ写真** : 題材への興味を喚起する写真を載せています。
- ③ **パラグラフの構成・展開パターン** : 教科書巻頭の「はじめに」で解説したパラグラフの構成・展開パターンの中で、その課で扱うものについて、例文を用いてさらに 1 ページを使って解説しています。

2. Express Yourself Logically

- ④ **資料や文章** : 素材となるグラフや表などの資料や、その資料に関連する内容の文章などを掲載しています。
- ⑤ **Listening Quiz** : 会話文の内容に関する簡単なリスニングクイズです。
- ⑥ **Task 1** : ④の文章の内容に関する要約文を完成させる問題です。
- ⑦ **Task 2** : 内容に関して、グループもしくはペアで質問し合う活動です。さまざまな視点からの意見を知ることになり、自己表現活動に役立てることができます。
- ⑧ **Task 3** : 論理的に自分の意見を述べる前段階として、伝えたい内容を表にまとめます。
- ⑨ **Goal** : ⑧を参考にして自分の意見などを話す・書く活動を行います。
- ⑩ **TRY** : ⑨で書いた内容をプレゼンテーションする活動です。

3. 課末

- ⑪ **CAN-DO Self-review** : CAN-DO を自己評価できるチェックリストです。
- ⑫ **Extra Activity** : 各課のトピックに関連する内容の問題で、イラストやグラフなどを使った英作文などや発展的な問題に取り組むことができます。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
前見返し English Punctuation	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II	—
はじめに	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	4～5ページ	2
Part 1 Lesson 1～5 Part 2 Lesson 1～5	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現 I」における学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項	内容 (1) Basic Expressions (10, 12ページほか) Functional Expressions (42, 44ページほか) (2) Model Dialog/Model Passage (10, 12ページほか) Task 1 (11, 12ページほか) Task 2 (11, 13ページほか) Goal (11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか) (3) ① Task 2 (11, 13ページほか) Goal (11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか) ② Basic Expressions (10, 12ページほか) Functional Expressions (42,	40

	内容の取扱い 「論理・表現 I」の 3 と同様に 取り扱うものとする。	44ページほか) 内容の取扱い 上記(2)と同じ	
Part 3 Lesson 1～5	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現 I」における 学習内容の定着を図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い 「論理・表現 I」の 3 と同様に 取り扱うものとする。	内容 (1) Check the Logic Patterns (73 ページほか) (2) Express Yourself Logically (74～76ページほか) (3) ① Task 2 (75ページほか) Task 3 (76ページほか) Goal (76ページほか) TRY (76ページほか) ② Check the Logic Pattern (73 ページほか) 内容の取扱い 上記(2)と同じ	20
スピーチをしてみよう プレゼンテーションをしてみよう	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと [発表]	102～105ページ	4
ディベートをしてみよう ディスカッションをしてみよう	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表]	106～109ページ	4
Expressions Plus	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	110～119ページ	—
Useful Expressions	内容の取扱い 「論理・表現 I」の 3 と同様に 取り扱うものとする。	120～126ページ	—
		計	70